

北八下校区
第3号
(2019年度版)

元気っ子だより

発行：八下中学校区青少年健全育成協議会 広報誌編集委員会



ワンちゃんとお花見やしモン♪ (広報誌編集委員 澤田佳知 撮影)

八下中学校区
青少年健全育成協議会

会長 亀井一慶

平素より本協議会の活動にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。子どもたちの健やかな成長と共に、安心・安全な環境を守るべく活動を推進しています。また、夢多き未来に一緒に歩んでいける校区へと発展していければ幸いです。今年度より北八下小学校と八下中学校が教育モデル校となり「子ども堺学・社会に開かれた教育課程推進校」と認定され、地域で「やしもっ子学習会」が始まりました。子どもたちの学びのサポート誠にありがとうございます。

北八下校区自治連合会

会長 藤木耕造

今年度より教育委員会から、英語教育に重点をおいた教育課程推進校に選定されました。この事業を推進するため、校区自治連合会、町会長、学校園長、PTA、青少年健全育成協議会のメンバーで「北八下教育モデル協議会」を発足しました。英語教育の推進を行うために地域会館での子どもから大人までの学習支援をしてまいります。

北八下校区として、いっそう教育と安全・安心の町を築いて「明るい住みよいまちづくり」をめざしていきます。



青少年健全育成協議会

この一年



「青少年健全育成協議会(健育会)」って???

堺市内の中学校区単位に設置され、その目的は「校区の子どもの健全育成にむけた取り組みを推進すること」です。そして本協議会は自治連合会、各町会、福祉委員会、民生委員児童委員会、主任児童員、スポーツ推進委員会、こども会育成協議会、交通指導委員会、防犯委員会、防災委員会、北堺少年補導員、老人クラブ、まち

づくり協議会、各町会の補導委員長、青少年指導員会、保護司、八下中学校、北八下小学校、北八下幼稚園、八下中学校PTA、北八下小学校PTAおよび北八下幼稚園PTAで構成されています。

活動の経費は堺市の補助金でまかなわれており、「堺元気っ子づくり推進事業」の名のもと、主に下記の事業を行っています。

元気っ子フェスティバル

9月21日に北八下小学校で元気っ子フェスティバルが開催されました。これは本協議会の事業の一つで、学校園、PTA、子ども会、青少年指導員が中心となつて開催しています。元気っ子実行委員長の櫻田博さんは「地域の子どもと大人が集まり、みんなで楽しさを共有するレクリエーション事業を行つて、お互いにネットワークを育むことが大切だ」とおっしゃっています。



㊤ギター部の演奏 ㊦大学生と一緒にダンス

作りなどもあり、子どもたちは楽しい時間を過ごしたようです。そして参加した子どもたちに感想を聞いてみました。「ミニ鉄道がよかった。小さいけど、ほんものみたいでかっこいいから」(小3女子)、「自分で好きなようにかざりつけできたので、

また、大人や中学生のスタッフに対しては、「あったかくかんじました。わたしもスタッフになりたい」(小3女子)、「わたしも、中学生みたいにやさしい人になりたい」(小1男子)、「とてもたいへんそうだったので、てつだいたい」(小4女子)と。将来が楽しみです。

(広報紙編集委員 隅谷俊紀)

当日は約400名の子どもたちが集まり、八下中学校ギター部や大阪管楽アンサンブルの演奏に耳を傾け、大阪府立大学ダンス部とともに踊り、盛り上がっていました。また、近畿大学奇術部によるマジック・ジャグリングショー、ミニ鉄道の乗車体験、ゲームコーナー、ミニオンのゴーグルムコーナー、ミニオンのゴーグル作りが楽しか



㊧ゲームコーナーに集まるたくさんの参加者 ㊨真剣にミニオンのゴーグルを作る小学生

校区巡回

本協議会では、子どもたちの見守り活動の一環として、学校の長期休業中に夜間巡回を「保護者・学校関係者・補導委員長・青少年指導員」の方々とともに実施いたしました。

夏季は、7月23日・25日、8月20日・22



校区巡回で大泉緑地へ

日に行い4日間で約100人の方にご参加いただきました。

また、冬季は12月26日を予定しておりましたが、雨天のため中止とさせていただきます。

今後も子どもたちの継続的な生活環境向上にご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

(健育会会長 亀井一慶)

通学路清掃

今年度は2学期が始まる前日の8月25日、通学路清掃を行いました。毎年、自治連合会、福祉委員会、八下中学校、北八下小学校、北八下幼稚園、本協議会をはじめ各種団体の協力のもと開催しています。何気なく通行するいつもの通学路にも、雑草やポイ捨てゴミなどがあるものです。清掃後のゴミ袋は軽トラックの荷台へ載せて「お疲れ様!」。

多くの方にご協力いただきありがとうございました。



たくさんのゴミ袋を載せた軽トラック

(健育会委員 古場俊)

教育講演会

12月3日、「外国語教育はこう変わる」と題して堺市教育委員会の^{かみえしゅう}上江州綾香氏をお迎えし本協議会の研修会を開催しました。

2020年4月より変わる新学習指導要領の説明、小・中学校の連携の必要性や、聞く・読む・書くから話すことの大切さ、さらには発信力を高め、グローバル社会に向けての力を身に付けていくことが求められているとお聞きし、



ご講師の話に耳を傾ける参加者の皆さん

その重要性を再認識しました。

(健育会委員 古場俊)

広報誌編集委員会

『北八下校区 元気っ子だより』も今回で第3号となりました。

新元号「令和」の時代が始まり、気持ち新たに生活を送っている方も多いのではないのでしょうか。

編集委員は、今回も校区のさまざまな行事に参加させていただきました。

今後も校区のいろいろな情報提供が出来るよう頑張ります!

(広報誌編集委員 松田大佑)



熱心に作成中

えてつながろう！ 

小学校 ックス



ふじ木さんは、ネジにサビがつかないように、ネジを大事にしていると思いました。朝から夕方まではたらいでいて、がんばっているのだと思いました。自転車の車のネジを作っているの、手

校区探検で三宝ネジ工場へ

がいたそうだなと思いました。一日千こ、全部で三十万こだそうです。おどろきました。きかいは、いろいろの特ちょうがあるそうです。ネジをたたすきかいや、けずるきかいはありました。三学きもふじ木さんの工場へ行きたいです。

(3年1組 湯口ほか)



北八下幼稚園 とびくす



堺まつりでやしモン♪ダンス

堺まつりに「北八下校区自治連合会やしモン♪ダンス隊」が「北八下幼稚園」として3年連続で大パレードに参加させていただきました。今年度は「百舌鳥・古市古墳群」が世界遺産に登録されたことを祝

舞台でもやしモン♪ダンス

し治道はお祝いムード一色となって盛りあがっていました。やしモン♪も保護者の手づくりの古墳マークのハチマキで登場です。元気いっぱいダンスをする園児たちに治道からは「かわいい！」と多くの声援をかけていただきました。(PTA副会長 生垣真理子)

堺市産業振興センターで開催された「ツリーのまわりでコンサート」に園児たちが出演しました。今回は初めてやしモン♪が登場し、園児たちと一緒にやしモン♪ダンスを踊ってくれました。歌の

時はたくさんのお客さんを前にして最初は少し緊張していましたが、だんだん歌声も響き、振り付けもバッチリでした。

日頃の取り組みを見てもらおうと、一生懸命がんばる園児たちの姿に、保護者たちもとても感動しました。(PTA会計 原田寿子)





学校園・世代を超



八下中学校 topics



私たちは、中学生スタッフとして、元気っ子の仕事を手伝わさしてもらいました。私は「ミニ魚」の担当として働きました。初めは自分たちの担当の道具がどこに置いてあるかわからなくてあせって



元気っ子スタッフをして

JR堺市駅では駅のそうじや駅員さんの仕事内容を学びました。特に印象に残った事は、起床装置です。なんとこの装置は、設定した時間にベットがふくらむのです。背筋が伸びるので、少し気持ち

職業体験に行つて

(2年2組 松原ななみ)

いました。そんなとき地域の大人の人が「何の担当」と親切にきいてくれました。そして、道具のある場所を教えてくださいました。その後、たくさんの子がきてくれ遊び終わると「ありがとう」と言ってもらえ、とてもうれしかったです。



太朗)

(2年1組 田代将也、2年1組 田村香

ちよかったです。駅員さんの、常にお客さんが気持ちよく駅を利用できるように考え、努力する姿が本当にすばらしかったです。



北八下 トピッ



つなげたい思い

ぼくは、総合の学習を通して、二つのことを学びました。一つ目は、誰かにやらされるんじゃないで、自らやるのが大切だということ。二つ目は、ぼくたちの気が付かない裏では、大人の人の

ちがこんなにかんばってくれているんだということです。ぼくたちのために動いてくれる方々を見習って、ぼくたちも、低学年などの下の学年の子たちに北八下の良さを伝えて、どんどんつないでいってもらいたいと思いました。

(6年2組 西夏楓)

幼小中のPTA活動



北八下幼稚園PTA

PTA活動を通して、子どもたちが安心して過ごせるような環境づくりのため、保護者や先生方、地域の方々と連携を取りながら活動に取り組んでいます。

年間を通じて、様々な活動を行っており、平成30年度には全国国公立幼稚園・こども園PTA全国大会徳島大会で当園のPTA活動が優良PTA文部科学大臣表彰を受けました。

保護者のみなさまも子どもたち同様、たくさんの方たちや自然と触れ合いながら思い出をつくっていただき、楽しく活動しています。

子どもたちの園生活がより充実したものになるよう、日頃からのPTA活動にご理解をいただきありがとうございます。ご了承ください。



文部科学大臣からの表彰状

(北八下幼稚園PTA会長 金原由紀)



北八下小学校PTA

私たちPTAは、元気っ子フェスにミニオンゴーグル作りでお手伝いさせていただきました。当日もたくさんの子供たちが参加してくれました。幼稚園のPTAの方々の応援もあり、ゴーグル作りは大盛況で終わられました。

地域で育つ子どもたちがどんなことに興味を持ち喜んでくれるのか、役員一同で話し合い、協力できたと思います。閉会式の記念撮影では、たくさんの子供たちのゴーグルを付けた笑顔が見れ、私たち役員も子どもたちからたくさんの元気っ子パワーをいただきました。これから北八下で育つ子どもたちが笑顔になれるこの素晴らしいイベントを地域と連携して続けていきたいです。



ゴーグルをつける子どもたち

(北八下小学校PTA副会長 藤井真美)



八下中学校PTA

今年度は堺市中学校・高等学校PTA協議会中央研修会にてPTA活動を報告するという大役がありました。

9月14日、堺市の梅文化会館にいつきました。約600名のPTA関係者や教職員関係者を前にし、PTA役員7名で舞台上上がり、ガチガチに緊張しましたが、八下中学校の歴史、PTA活動、また子どもたちの様子、地域紹介を行いました。そこで、地域のゆるキャラ「やしモン」にも登場してもらい、皆さんにとっても喜んでいただき評判がよかったです。

PTA役員一同は子どもたちが安全・安心して通える学校づくりに取り組んでいますので、ご協力よろしく願いいたします。



舞台での発表

(八下中学校PTA会長 里村昌洋)



第6回 絆フェス

～ 世代を超えてつながろう! ～



小学生による南中ソーラン

11月24日に第6回絆フェスが北八下小学校で開催されました。毎年恒例の北八下幼稚園による「やしモン♪ダンス」でスタート。北八下小学生の「南中ソーラン」、八下中学校ギター部の演奏のあと、大阪市立大学のアカペラグループ「金糸雀」^{カナリヤ}「蝶古彩」^{ちよこざい}の素晴らしい透き通ったハーモニーが観客を魅了しました。

午後からは老人クラブや南花田東町会有志の演技のあと、第2回となる町会対抗のど自慢大会が開催されました。今回は町会対抗戦に加え、年代別の優秀賞、ダンスやパフォーマンスを評価した審査員特別賞が選ばれました。そして町会対抗戦は南花田の連覇となりました。各町会による模擬店は今年も大盛況。フリーマーケット



大盛況の模擬店



LINE スタンプ

やワークショップも大人気でした。また、新しいやしモン♪グッズを開発するため、試作品とアイデアを募集しそのコンテストを行いました。投票でやしモン♪のLINEスタンプが一番人気となり、実行委員会で実現に向け進めています。

昨年からは始めたやしモン♪の田んぼアートですが、古代米の種類を増やし、デザインも工夫を凝らし取り組みました。北八下幼稚園にもたく



ドローンで撮影した田んぼアート

さん田植えを手伝ってもらい、9月には実った4色の稲穂で綺麗な可愛いやしモン♪を描くことができました。収穫したお米は、絆フェスで試食と販売をし、あつと言う間に完売しました。

(絆フェス実行副委員長 澤田佳知)



北八下校区

あれこれ



歴史ウォーク



北八下歴史講演会

12月22日に北八下小学校で「北八下歴史講演会」が開催されました。この会は、北八下校区魅力発信事業の一環として、また学校と地域の連携を図るために、まちづくり協議会が中心となり開催しました。

当日は、来賓として北区長をはじめ、堺市関係者、北区の各自治連合会会長、議員の皆様が参加され、小学校6年生、地域のたくさんの方が聴講しておられました。講演会では、松原市文化財保護審議会委員の西田孝司さんが「河内の国と北八下」、中村町出身で元長尾中学校校長の巽正憲さんが「ふるさと北八下の歴史とみりよく」を発表されました。

参加者の一人は「北八下は約2

万年前から人々の営みがあったと聞いて感動しました」とおっしゃっていました。

また講演の他には、幼小中の子どもたちが日ごろの練習の成果を披露してくれました。

さらには「ふるさと北八下の昔探訪マップ」冊子編集員によるポスターや、八下中学生作成の古墳の模型、「やしモン♪田んぼアート」の写真が掲示されていました。「ふるさと北八下の昔 探訪マップ」の冊子発行は3月の予定です。

(冊子編集員 増田康夫)



巽正憲さんの講演

校区防災訓練

総勢170名が参加



11月17日に北八下小学校で校区全体の防災訓練が行われました。

AED(自動体外式除細動器)の使い方や火災時の煙体験、バケツリレーなどの災害時に役立つ実地訓練が行われました。今回はアルファ米の炊き出し訓練もあり、良い体験をすることが出来ました。

災害は、いつ何時起こるかかわかりません。今回の訓練を通じ、少

スポーツ大会

チームの絆で熱戦繰り広げる



11月17日、秋晴れのもと、区内の子ども会の選手が日頃の練習の成果を競う「堺市こども会育成協議会北ブロックこども会スポーツ大会」が金岡公園で開催されました。北八下校区からは、ポートボール、ソフトボール、綱引きの競技にたくさんの方が参加しました。選手たちが、大きな掛け声とともに元気なプレーを披露する



熱戦のポートボール

と、保護者からも「頑張れ」と声援が飛び交うなど、熱戦を繰り広げました。

(広報誌編集委員 北口崇)

しの知識や経験の大切さを感じました。

(広報誌編集委員 松田大佑)



やしモン♪と一緒にバケツリレー

福祉委員会

子どもから高齢者まで



ふくし祭りでの、北堺警察による特殊詐欺防止講座

福祉委員会は、①子どもを対象にした子育てサロン（ぶちとまと、ちびっこペンギン）やみんなの子育て広場、②高齢者を対象にしたデイスコンや健康マージャン、カラオケ、生け花、③全世界対象のふれあい喫茶、朝市、大根まつり等に携わっています。その他、年に2回程度のおたっしや福祉を開催したり、民生委員の協力を得ての訪問活動で地域の人々の繋がりを持てる様にお手伝いしています。

10月27日に中村町会館で校区ふくし祭りを開催し、多くの参加者で賑わいました。

（広報誌編集委員 網野尋昭）

子ども食堂

中村町「すまいる」



「すまいる」に集まる子どもたち

デイサービス「すまいるはあとライラック」を運営する小原一浩さんは「地域に貢献したい！」と2019年2月に子どもたちに居場所とあたたかいご飯を提供する「子ども食堂」をオープンしました。当初の参加数より減ったというものの40名を超す子どもたちが参加しています。施設の備品を無料開放しており、食事後、子どもたちはカラオケに夢中になったり、ミニ卓球でスタッフと対戦したりして楽しんでいました。

また11月のもの作りは、クリスマスミニツリーということで、松の実に色を塗り、飾りをつけていました。



みんなで楽しくカラオケを

また11月のもの作りは、クリスマスミニツリーということで、松の実に色を塗り、飾りをつけていました。

指導している人の中には、デイサービス利用の高齢者もいて、喜んで上手に教えており、「社会参加できて嬉しいし、子どもたちの笑顔を見れて楽しい」とおっしゃっていました。

ボランティアを募集しているそうですので連絡をお願いします（☎090・9621・1277）。

（中村町126・2、第3土曜日10時～13時30分。大人・子ども100円）

（広報誌編集委員 樺田博）

青少年指導員会

令和初の成人式へ



1月13日10時から堺市産業振興センターにて成人式が行われました。

私たち青少年指導員は、堺市北区青少年指導員連絡協議会にて「成人式実行委員会」を担っており、成人式のプログラム作りや新成人実行委員会のお手伝い、また式典当日は会場の案内や警備等に当たっております。

今年度北区では、約1600人が成人となり、当日は1013人が参加され「やしモン♪」も大人気で、大人の仲間入りとなった子どもたちの成長を感じ取れる良い式典になったかと思えます。

大人の仲間入りとなった子どもたちの成長を感じ取れる良い式典になったかと思えます。



八下中学校卒業生、やしモン♪と一緒に

（青少年指導員会会長 亀井一慶）

「北八下校区あれこれ」次面につづく

校区町会の祭り

野遠町会・秋祭り



野遠町の秋祭りは、台風の影響で、10月13日に子ども地車とふとん太鼓の曳行だけが、時間とコースを短縮して行われました。ふとん太鼓は野遠の八坂神社を出発し西側の住宅から竹内街道を通って、ちびっこ広場を経て神社に戻りました。短い時間でしたが、二年ぶりの曳行で、空に白い房が大きく揺れ、大いに盛り上がっていました。来年度はふとん太鼓を新しくするうえで、勇壮な祭りが今から楽しみです。

(広報誌編集委員 澤田佳知)



ふとん太鼓を担ぐ青年団の皆さん

校区OB紹介

落語家・桂文五郎さん



落語家として活躍されているOBの方がおられるのをご存知でしょうか。



あの有名な桂文珍さんのお弟子さんである、桂文五郎(本名・杉本岳志)さんです。1984年生まれで35歳で、当時は南花田町に住んでおられました。

なんと、落語界に入られたのは28歳の時で、安定していた仕事を捨てて、文珍師匠に何度も掛け合っては断られたのですが、その情熱を認められ、30年ぶりの弟子として受け入れていただいたようです。厳しい修行を積み、現在では上方古典落語の若手実力者として活躍をされています。

これを機に、文五郎さんの落語を一度聴いてみてはどうでしょうか。

(広報誌編集委員 阪本昌英)

ケアハウス

ケアハウス プレス南花田



ケアハウスは安い費用で利用できる軽費老人ホームで、自分の身の回りのことは自分でするという「個人の生活と自立を尊重した施設」です。自立した生活を出来るだけ長く維持できるようにサポートするのがこのケアハウスです。



お抹茶の振る舞い

1997年開業で、2014年からは地域密着型特別養護老人ホームを併設しています。

11月3日に文化祭が開催され、玄関広場では野点でのお抹茶の振る舞いがあったり、館内では入所者や通所者の方々の絵や書の作品

がたくさん展示される中で来所者も一緒に食事をしたりして、一日楽しく過ごしていました。

社会福祉法人宝生会理事長の西田恵子さんは「地域の方々にプレス南花田の施設のこと、施設の方針、入所者に対する職員の思いも知っていたいただきたい。また、地域との連携や、助け合いながら共存してゆくことを大切にし、地域とより良い関係を築きたいとの思いから、いろいろなイベントを開催しています」とおっしゃっています。

(南花田町530、☎072-256-2800)

(広報誌編集委員 網野尋昭)



館内での作品展

教育モデル校に



北八下小学校・八下中学校

北八下小学校ならびに八下中学校は、2019年4月から堺市教育委員会より**子ども堺学・社会に開かれた教育課程推進校**という教育モデル校に認定されました。

「確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成による生きる力を育む文教の街 北八下」を地域の教育目標に設定して、北八下校区自治連合会は、教育委員会と交渉を重

ね、教育モデル校の認定に至ったのでした。

教育モデル校となり、英語教育

モデル校として英語講師とサポートが派遣され、幼稚園、小学校、ならびに中学校の英語授業の充実が図られます。

また来年度4月より、大阪府立大学協力のもと全世代対象の英語学習会を3カ所の町会館を順番に使用して開催される予定だそうです。

(広報誌編集委員会)

やしもっ子学習会

町会館で開催



今年度、北八下連合町会館(中村町)と南花田東町会館にて「やしもっ子学習会」を開催しました。中学生約20名が参加し、自学自習の形で19時から21時まで2時間、年間45回開催しました。開催に要する費用は、北区役所の「子ども居場所づくり」補助金を活用しました。

北区役所の担当課長は、「中学生



やしもっ子学習会の様子

が対象で学習に特化した子どもの居場所づくりは、北八下だけです」と話されています。

(やしもっ子学習会現場責任者 樺田博)

子ども会



南花田町こども育成会

2年前に新しい体制で南花田町の子ども会が「南花田町こども育成会」としてスタートしました。より多くの方に加入していただくために、町会加入世帯の小学生に加え中学生にも対象を広げ、原則会費無料運営をしています



クリスマス会でのひとコマ

す。現在、約40名が加入をしており、バーベキュー、遠足、盆踊り、だんじり、クリスマス会、お楽しみ会などの行事や毎月第3日曜日の古紙回収などの活動を行っています。

子どもの健やかな成長にとって、とても大切な経験ができる機会となっていますので、子ども会活動に参加してみようか。

(広報誌編集委員 阪本昌英)

地藏盆



南花田町「和佐田地蔵尊」

南花田の中ほどに和佐田地蔵尊わさだ じざうせんは安置されています。花立てに「天保五年」と刻まれていることから、200年程前からまつられているようです。

高照寺住職と子どもたちも加わって賑やかにおつとめをしています。まさに地域の皆さんに親しまれている「お地藏さん」です。

(広報誌編集委員 高照寺住職 隅谷俊紀)

また普段は、ご近所の方々が交代でお世話をされていますが、地藏盆のときは



8月23日の地藏盆



校区たんけん

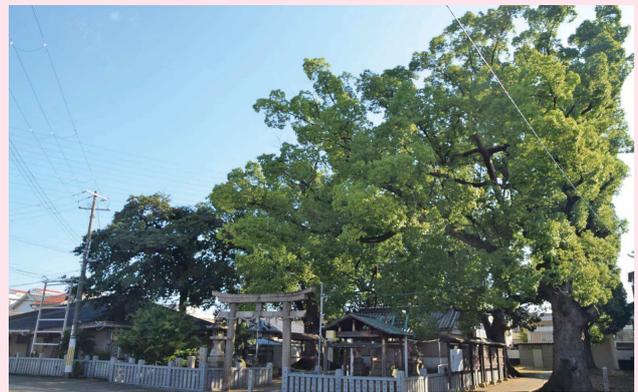
～ 保存樹木 ～



北八下校区は、校区の中心に大阪四大緑地の一つの大泉緑地があり、また、古くは、奈良へと続くルートとして重要な役割を果たしてきた長尾街道と日本で最も古い官道の竹内街道がとおる地域です。このような、緑があふれ、歴史情緒ある北八下校区には、堺市が「市内の身近な場所で長い歳月をかけて育った樹木や樹林は、地域の景観に魅力を与え、地域の歴史や文化を伝える大切な財産であり保全する必要がある」として定める「堺市保存樹木」が6本あります。

地域を見守って

南花田町の八坂神社には、1982年3月に指定された3本のくすの木があります。いずれもかなり大きな幹回りで、大人ひとりが手を広げても到底測れるものではありません。また、中村町の八坂神社にも1987年3月に指定された立派な1本のくすの木が、鳥居の傍に地域を見守るように立っています。さらに、野遠町の八



八坂神社(南花田町)にあるくすの木

坂神社のくすの木もかなり大きなもので、正面の鳥居をはるかにしのぐ高さがあり、同町の西教寺のかいづかいぶきとともに、各1本ずつ1991年3月に指定されています。

今も昔もこれら樹木の下では、子どもたちが遊び、大人たちが集い、また、地域では祭りを行ったりと、地域の絆を育むことに大きな役割を果たしてきたのだらうと思います。これからも、私たちを見守ってもらえるように、地域で大切に育てていきたいと思っています。

(広報誌編集委員 北口崇)

編集後記

編集委員が取材し記事を書いたあと、12月と1月に編集委員会が開催され、それぞれが執筆した原稿の読み合わせをします。内容の確認から、文章の校正や行数調整、誤字脱字のチェックまで、午後7時に始まった会議が終わってみると10時をまわっています……。休憩なしでクタクタになりながら完成しました「力作」の第3号をお届けします。(広報誌編集委員長 隅谷俊紀)

『北八下校区 元気っ子だより』 第3号 (2019年度版)
2020年(令和2年)3月1日発行 (発行部数 3500部)
発行：八下中学校区青少年健全育成協議会 広報誌編集委員会
事務所：堺市立八下中学校内
〒591-8012 堺市北区中村町 977-20 電話 072-252-0412
(協賛：北八下校区青少年指導員会)

広報誌編集委員
増田康夫 隅谷俊紀
網野尋昭 北口崇
阪本昌英 古場俊
樺田博 松田大佑
澤田佳知 亀井一慶